

議会改革特別委員会行政視察報告

(議会用タブレット端末導入について)

議会改革特別委員会では、

議会 ICT化の一つとして、議会におけるタブレット端末導入について検討しています。

そこで、県内で既に導入し活用している3つの自治体の先進地視察を7月10日に行いました。

● 関市

(平成25年9月運用開始)

● 美濃加茂市

(平成29年12月運用開始)

● 中津川市

(平成30年3月運用開始)

導入時期やシステム、経費などは様々ですが、いずれの市もタブレット端末導入により、ペーパーレス化や事務の



関市を視察



先進地視察(関市にて)

効率化、情報共有の有益性、膨大な資料がタブレット端末で参照できる利便性など、成果をあげられているとのことでした。

しかし、それを使いこなす習熟度に違いがあり、有効利用されている議員とそうでない議員との格差があること。予算書など一部資料を紙とタブレット端末と併用している議会もありました。

当委員会としても、タブレット端末導入は、

ペーパーレス化によりエコ社会に貢献するとともに、印刷業務など事務の効率化が図れること

● 多くのデータを共有することにより議会の活性化が図られること

● 政務活動や災害時の迅速な情報収集や提供に活用できること

それらのことを導入の目的と捉え、今後さらに調査、検討を行い導入の是非を決定したいと考えています。

議会改革特別委員長

住田 清美



タブレット操作を体験(美濃加茂市にて)

お知らせ

飛騨市ケーブルテレビでは、議会の様子を生中継、また、当日の夜に再放送します。

— 議会事務局 —
(電話:73-7467)

12月定例会 開催予定

11月25日(月)

12月 3日(火)~5日(木)

6日(金)

9日(月)

11日(水)

本会議 開会日 (議案提案説明)

一般質問

総務常任委員会・産業常任委員会 (付託案件審査)

予算特別委員会

本会議 閉会日 (付託案件委員長報告、採決)

※変更となる場合があります

編集後記

古川町杉崎の歌塚公園。毎夕、住民が灯籠箱を下げて、園内の秋葉様にやって来る。

箱から小さな蠟燭を取り出し、火をつけて秋葉様の灯明を点す。拜んだ後、灯籠箱は次の当番の家に渡される。「明日やで、頼むさなあ〜」杉崎区の現戸数は三百六十五余。年に一度の区民灯明当番である。

昔、杉崎で大火があった。それを期に、区民全員が順番に、秋葉様のお灯明を点して火の要心をお願いする習わしが始まった。近年、この点灯を時代遅れで不合理だから、自動点滅の灯籠にしたらどうかという意見が出た。しかし、それは一蹴された。「区民一人一人が責任を持って点すことに意義がある。不合理でも安心を願う区民の思いを継承する責任がある!」と。

飛騨市民のふるさとへの思いは、市内の各地域で頑なに保持されている習わしの中に見受けられる。それはふるさとの誇りである。

(中村 健 吉)